

一般質問



今後の仙北市の方向性について

仙北市の将来を担う子供達のことについて

田口 寿宜

仙北市の方向性について

質問 仙北市が誕生し二年が経過した。財政状況が厳しい中、それぞれが目標達成に向けて活動している。

市長の市に対する思いは、市政方針などで伺ってはいるが、方向性や将来像が今ひとつはつきり伝わってこない。市民の生活に密接している農業、商工業、そして観光産業、福祉、教育について市長のビジョンを今一度明確に示していただきたい。

市長

観光産業と商工業、農業が別物ではないという認識をしっかりと持ちたい。農業の振興、商工業の振興が観光と関わることによってそれぞれの分野が今以上に元気になろうという施策を今進めているところである。

福祉については、高齢化率が三〇パーセントを超え、四十パーセントに近づいている。高齢者が増えることを前提に高齢者が自立できるように介護予防、健康維持のための施策、そして老人クラブ、かたるべ会などの活動に対する施策、支援に力を入れていく。

教育に関しては、幼児教育、学校教育、生涯教育というそれぞれ世代ごとに、またス

ポーツ教育、情操教育の両面からも教育委員会と連携をとりながら進めていく。

仙北市の将来を担う子供達のことについて

質問

インターネットや携帯電話などの普及による有害情報、またインターネットや掲示板などによる誹謗中傷が全国的にも大変な問題になっている。携帯電話から出会う系サイトへ踏み込み様な犯罪に子供達が巻き込まれている。仙北市でもいつこれら事件が起こるのかわからない状況になっている。教育委員会、学校、そして地域とPTAが今以上に連携し環境作りをしなければならぬと考えるが教育長の見解を伺う。

教育長

携帯電話は小学生はまだまだわずかですが中学生では二十%ぐらいの子供が所持しているようである。しかし学校への持ち込みについては規制をしている。コンピューター、インターネットについては、使用方法だけでなくマナー、あるいは危険、潜在危険についても指導しているところである。しかし子供達はどんどん進化していく、今後PTAを通して研修会で保護者へこの問題に対する意識向

上、対応の仕方について学ぶ機会を増やしていく。

児童、生徒による子供会議は実施できないか

質問

子供達を含む若年層を将来如何に定着させるかは、これからの重要な課題であると考えます。子供会議を開催し、市のことを知ってもらうと同時に夢を語り合い、議論しその成果が市の施策に反映されるという流れを作っていくべきと思う。単なるイベントとしてではなく継続性のある将来に結びつく形でこの子供会議を開催できないか。

市長

現在、玉川ダムの子供交流会を毎年開催している。市内の小学四年生に全員参加してもらい、ダムの仕組、水のありがたさ、森林との関係など習得してもらっている。こういったものを発展させ教育委員会と相談しながら進めてみたいと思う。

教育長

児童会、生徒会、あるいは地域の色々な活動を広



仙北市の未来を担う子供達

げて市内全体に広げていくには、若干の段階が必要と思う。校内の話し合い、小、中学生との意見交換、テーマをもとにした全体会議などそれぞれの段階の中で、ふるさとを知りふるさとに誇りを持つことは大変大事なことだと思ふ。今後具体化に向けて進めていきたい。